

# いわてまち 社協だより



107号  
2023.3月



沼宮内保育所では2月3日、同園ホールで豆まき会をしました。

登場した赤鬼に怖がりながらも豆を投げつけ、無事に鬼退治。1年の無病息災を祈りました。



目次

- 第30回岩手町福祉作文コンクール…2~11
- 保育所紹介……………12
- 生活困窮者自立支援事業について…………13
- 赤い羽根共同募金・  
歳末たすけあい募金の報告…………14~15
- まちの福祉・寄附の紹介・編集後記……16

この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。

編集と発行

社会福祉法人  
岩手町社会福祉協議会

岩手町大字五日市10-51-1  
TEL.0195-62-3570 FAX.0195-62-1599  
●Eメール iwateow@eins.rnac.ne.jp

●ホームページ [http://iwatemachi\\_shakyo.org](http://iwatemachi_shakyo.org)

# 第30回岩手町福祉作文コンクール

育てよう 思いやりの心 助け合いの心 福祉の心



町社会福祉協議会では町内の小・中・高校生を対象に、地域福祉への理解と関心を高めることを目的として、福祉作文コンクールを毎年開催しています。

30回目を迎えた今年度も、学校、家庭、福祉施設での体験や、高齢者・障がい者との交流によって育まれた思いやり、助け合いの気持ちなど、福祉の心にあふれた合計41点の作品が寄せられました。

本紙では、その中から最優秀賞受賞作品を紹介します。

なお、その他入選作品は「第30回岩手町福祉作文コンクール入選作品集」として、公民館・町立図書館・学校などに備え付けています。



最優秀賞を受賞した皆さん

## 第30回岩手町福祉作文コンクール 入選作品

### 《小学校 低学年の部》（応募総数 7 点）

入選	学校名	学年	氏名		作品名
最優秀賞	沼宮内小学校	2	川 向 菜 緒	かわむかい なお	ちがうということ
優 秀 賞	一方井小学校	2	大 巻 華 歩	おおまき かほ	あったかことば
佳 作	沼宮内小学校	1	早 坂 唯 真	はやさか ゆま	はたらく手
佳 作	沼宮内小学校	2	佐 藤 瑛 太	さとう えいた	やさしいおばあちゃんおじいちゃん

### 《小学校 中学年の部》（応募総数 10 点）

入選	学校名	学年	氏名		作品名
最優秀賞	川 口 小 学 校	4	立 花 彩 乃	たちばな あやの	こわい思いをさせないように
優 秀 賞	一方井小学校	4	武 田 咲 心	たけだ さこ	わたしの成長
佳 作	一方井小学校	3	武 田 怜 弥	たけだ れいや	ありがとう お母さん
佳 作	沼宮内小学校	4	齊 藤 大 和	さいとう とわ	いいまち、岩手町
佳 作	沼宮内小学校	4	月 山 実 莉	つきやま みのり	心はつながっているよ
佳 作	沼宮内小学校	4	佐々木 夢 月	ささき ゆづき	わたしにできること

### 《小学校 高学年の部》（応募総数 10 点）

入選	学校名	学年	氏名		作品名
最優秀賞	沼宮内小学校	6	上小路 尚 人	かみこうじ なおと	ぼくにできること
優 秀 賞	沼宮内小学校	5	高 橋 莉 子	たかはし りこ	今を楽しく生きるには
佳 作	沼宮内小学校	6	中 村 結 那	なかむら ゆな	相手のことを考えて
佳 作	川 口 小 学 校	6	佐々木 愛	ささき まな	自閉症って知ってる
佳 作	川 口 小 学 校	6	佐々木 汐 音	ささき しおん	人の役に立つ人になる

### 《中学校の部》（応募総数 12 点）

入選	学校名	学年	氏名		作品名
最優秀賞	沼宮内中学校	1	福 士 結 衣	ふくし ゆい	想いを書に込めて
優 秀 賞	川 口 中 学 校	1	畠 山 ひなた	はたけやま ひなた	「住みやすい町ってなんだろう」
佳 作	沼宮内中学校	1	佐 藤 宙 翔	さとう ひろと	つなぐ命について
佳 作	川 口 中 学 校	1	岩 澤 深 空	いわさわ みそら	「十人十色」
佳 作	一方井中学校	3	杉 本 優 武	すぎもと ひろむ	家族の大切さ

### 《高校の部》（応募総数 2 点）

入選	学校名	学年	氏名		作品名
最優秀賞	沼宮内高等学校	3	立 花 紅 愛	たちばな くれあ	看護師ができること
優 秀 賞	沼宮内高等学校	3	森 美 香	もり みか	医療事務員として岩手町に貢献していきたいこと

## 最優秀作品紹介

### 小学校 低学年の部

# ちがうとちがうと

沼宮内小学校 2年 川向 菜緒

わたしは、五人家ぞくです。みんななかよしです。でも、全いんすきなものや、できることがちがいます。たとえば、わたしは、いちごがにが手だけど、お兄ちゃんとお姉ちゃんは、いちごが大すきです。また、わたしとお姉ちゃんは、魚がすきで、いっぱい食べられるけど、お兄ちゃんにはが手です。お母さんは、高いところがにが手だけど、子どものわたしたちはへい気です。そして、お父さんはじゅういさんだけどハムスターがにが手です。でも、わたしはハムスターが大すきです。お兄ちゃんとお母さんは、目がわるいので、メガネやコンタクトをつけています。

前に、図書しつもの、「みえるとかみえないとか」という本を読んだことがあります。うちゅうひこうしのしゅ人公がいろんな星をちようさする話です。足の長い人の星や、空をとべる人の星、体のやわらかい人の星、口が長い人の星があつて、そのとくちようは、それぞれの星では、あたり前でした。

目が三つあるのがあたり前の星では、生まれつき全ぶの目が見えないという人もいました。見えない人のせいかいのかんじ方は、見える人と同じ分ちがうけれど、音やにおいや、手ざわりでいろんなことが分かり、「見えないからこそできること」がたくさんあるとわたしは思いました。

わたしたちは、みんな人それぞれちがいます。人それぞれ、ちがうと

ころはあつても、同じところがかならずあると思います。同じところがさがしながら、ちがうところをおたがいにおもしろがるのができれば、すてきななと思います。おたがいのちがいを、分かつてあげれば、こころのきよりが近づく気がします。だからわたしは、ちがいを分かつて、あい手の気もちを考えられる人になりたいなと思います。



## 最優秀作品紹介

小学校 中学年の部

## 「どうしてあんなに怖いのか」

川口小学校 4年 立花<sup>たちばな</sup>彩乃<sup>あやの</sup>

「ううう。こわいよ。」

もし、ここにだれかが走ってきてぶつかつたらどうなっちゃうんだろう。

一学期に、わたしは、キャップハンディ体験をしました。足が不自由な人は、自分では歩けないので、車いすというものを使ってい動します。自分のうででこいだり、だれかにおしてもらったりします。わたしも、車いすに乗ってこいでみました。うででこぐのはつかれますが、便利な乗り物だと感じました。でも、乗っているときに、ふと考えてしまいました。だれかが走ってきてぶつかつてしまつたらどうなるのだろう。きっと、車いすに乗っている人も、走ってきた人も大けがをしてしまうのだろう。こわいな。

わたしは、前におばあちゃんと病

院にいったときに、車いすに乗ったおばあさんに会いました。すると、後ろから走ってきた子どもがおばあさんにぶつかりそうになったのです。とつさにわたしは目をつぶっていました。見るのがこわかったのです。どうにかぶつかつてはいないようでしたが、おばあさんは、むねに手を当てていました。きっと、おばあさんもこわかったのだと思います。

「だいじょうぶですか。」

と、わたしは声をかけました。おばあさんは

「ありがとう。」

と言って、ほっとしている様子でした。ぶつからなくて良かった。ぶつかつていたら、と思うとせ中がぞぞつとします。

こわかったのは、それだけではな

いです。キャップハンディ体験での目が不自由な人の体験です。目かくしをしているので、真っ暗で何も見えません。かい助をしてもらいながら体育館を一周しました。平らなところはよかったです。うらの階段を上る時に、あやうく、ぶつかつそうになりました。でも、もっとこわかったのは、階段を下りる時です。足を下に運ぶのがこわくてしかたなかったです。かい助してくれる人がいなかったら、階段など、決して上つたり下りたりすることはできないなと思いました。

わたしが、病院でおばあさんに出会つたように、これからも、体の不自由な人たちに出会うことがあると思います。わたしがこわかつたように、体の不自由な人はもっとこわい

## 最優秀作品紹介

### 小学校 高学年の部

# ぼくがママのこころ

思いをしていることをわすれずに、こまっていたら、「だいじょうぶで

すか。お手伝いしましょうか。」と、声をかけたいと思います。

ぼくのお母さんは、大けがをして入院したことがあります。背骨が折れて、しばらく集中治療室に入っていました。もう歩けなくなるかもしれないとお父さんに教えてもらったときには、不安で悲しくなりました。今すぐ会いに行きたいと思いました。それなのに、集中治療室に入るには年齢制限があり、家族の中でぼくだけがお母さんに会うことができませんでした。お母さんのことを思うと、何かしてあげたいし、助けてあげたいと思いました。車いすを押すことぐらいしかぼくには、考えつきませんでした。ぼくは、けが

沼宮内小学校 6年 上小路 尚人

をしたお母さんの助け方が分かりませんでした。だから、助けようと思ってもどうしていいのかわかりませんでした。

しばらくして、お母さんが普通の病室に戻りました。治療やリハビリをして、歩けるようになりました。家に帰ってきて、家族みんなで喜びました。でも、できないことがたくさんありました。例えば、重い物を持つことはできませんでした。だから、買い物に行ったときには、代わりに荷物を持ってあげました。お母さんは、「ありがとう。」

と言ってくれました。すぐくうれしかったです。リハビリのために散歩に行くときには、ぼくも一緒に歩くと言ってくれました。歩きながら、病院での話もしてくれました。入院しているときに、先生や看護師さん達にたくさん助けてもらった話を聞きました。集中治療室には、男の看護師さんがたくさんいて、すごく丁寧に世話をしてくれたそうです。けがをしていて、体がすごく痛くて、動くこともできないし、こわくて不安だったお母さんを支えてくれた看護師さん。実は、ぼくも一緒にけがをしていたから、お母さんの不安も看護師さんのありがたさも分かりません。ぼく自身も後遺症が残るかもしれないという不安を看護師さんに取り除いてもらって、将来看護師になりたいと思いはじめました。病气やけがで辛い思いをしている人達に寄り添ってあげたいです。

お母さんと話しながらぼくは、気付いたことがあります。車いすを押したり、重い物を持ってあげたりす

## 最優秀作品紹介

することも助けになるけど、他にもできることがあることに気付きました。それは、困っている人の話を聞き、寄り添うことです。話を聞いてあげて、安心させてあげることも人を助けることなのだと思います。

これから、ぼくにできることは、困っている人や悲しんでいる人に気付くことです。けがをしている人は目に見えるけど、目に見えない辛さを感じるんです。そして、話を聞くこと。手伝えることは何かを聞いて、助けてあげたいです。自分や家族が助けてもらったように、誰かを助けてあげたいです。そんな優しさの輪が広がっていったらうれしいです。けがをした人、悲しんでいる人、高齢者。みんなに優しい世界になってほしいです。



### 中学校の部

# 想いを書いばあて

沼宮内中学校 1年 福士 結衣

「命」――墨で書かれた力強く太いこの字を見た時、その迫力に驚いた。この書を書いた人は、どんな人なのか。そして、どうしたらこんなに力強く想いの伝わる書が書けるか知りたと思った。

その書は、ダウン症で日本一の女流書家といわれている金澤翔子さんの作品だった。習字を教えていた母親のもと、五歳で習字を始めた翔子さん。習字を習っている姉の影響で六歳から習字を始めた私。翔子さんと私の共通点を見つけ、とても引きつけられた。

翔子さんについて調べてみて、この「命」のどっしりとした力強い重みは、翔子さんの命そのものだと感じた。なぜなら仮死状態で生まれてきて、普通だったらだめになる命が

父親の交換輸血で助かったからだ。命を救ってくれたが彼女が十四歳の時に亡くなった父や、知的障がいが残った自分を見捨てることなく大切に育ててくれた母への感謝の気持ちを伝えたい。そんな想いで「命」を力強く書いたのだろう、と私は考えた。

そんな親子に小学校四年生の担任の先生から「ダウン症だと普通学校は無理だから身障者学級のある学校に転校してくれ。」と告げられたことがあったという。そんな絶望の真っただ中に取り組んだのが、二七二文字の般若心経だ。翔子さんは毎日朝から晩まで、叱られながら泣きながら書いたそう。難しい漢字がいくつもあるのに、十歳の彼女がよく投げ出さずに書き続けたと

## 最優秀作品紹介

思った。この辛い経験を通して、今の翔子さんがもっている持続の力や習字を教えられるほどの技術がついたそう。

私は、このことから、基礎をしっかり学ぶ、精神力を鍛えるというのは、とても大切だと思った。私も習字を通して、集中力を身につけることができた。これまでの私は、飽きて途中で終わらせたくなっていたが、今では納得する字を書けるようになるまで四時間ほども取り組めるようになった。特に行書を学び始めて、線の強弱やリズムが大切だと分かった。それは、基礎をしっかり身につけてきたから気づけたことだ。

翔子さんは、習字を他の人に喜んでもらいたくなくて書いている。私も習字で進級したときやコンクールで賞に入ったときに先生や家族が喜んでくれるのが嬉しくて、練習はつらいけれど頑張っている。昨年の夏「家族の絆」という手本をもらい取り組みんだ。姉が高校進学で家を離れ、姉の分も習字や家のことをがんばりた

いという想いで取り組んだ作品だった。字のバランスが難しくて何枚も何枚も書いた。その書がコンクールで入賞したときは、とてもうれしかった。家族や先生にも喜んでもらえたのがまたうれしかった。なかなか結果が出ずに悔しい気持ちが続いてきたが、習字を続けてきてよかったと思えた瞬間だった。続けていると昨年の自分より上達していることに気がつく。誰かと比べるのではなく自分と向き合う時間が、自分の心を強くしていると思う。

翔子さんは、学校時代「ビリ」であつたが、得意なことを続け、磨き、「ダウン症で日本一の女流書家」と言われるまでになった。今では、書を見た人に感動を与える書家となっている。今の私は、翔子さんが基礎や精神力を鍛えたように日々練習をしている。もっと線を太く、リズムよく書き技術を向上させたい。以前は、進級や賞に入れたことが楽しいと思っていたが、行書を学ぶ今、書を書くこと自体が楽しいと思えるよ

うになってきた。

金澤翔子さんという人を知ったことで、私にも変化がたくさんあった。今は、「生徒師範を取る」という目標と共に、見た人がその想いを受け取れるような作品をいつの日か書きたいと強く思っている。



## 最優秀作品紹介

## 高等学校の部

## 看護師ができてみる1と

沼宮内高等学校 3年 立花<sup>たちばな</sup>紅<sup>くれあ</sup>愛

現在の日本で少子高齢化が問題となっている。少子化が急速に進み高齢者の大幅な増加により超高齢化社会になっているともいえる。それは日本だけではなく岩手町でも同じである。岩手町の人口の四割程度が高齢者である。それにより、労働者不足や長時間労働などの問題も増えてくる。実際に少子高齢化に加え新型コロナウイルスなどの検査やワクチン接種で、医療従事者の人手不足による負担が大きくなっていると感じる。その負担を軽減させるために私は、将来少しでも岩手町に貢献できるように看護師になりたい。そして、より良い社会や笑顔で健康に暮らせる人が増える町にしていきたいと考えている。

私が看護師になろうと思ったきっかけは二つある。一つ目は私自身が小学校四年生の終わりに盲腸で入院したことだ。腹痛と吐き気に襲われて、一人で歩くこともできなかった。病院に行ったその日に手術することになり私は怖くて仕方なかった。そんな私に看護師さんが常に「大丈夫だよ」と声をかけてくれた。その言葉で手術を頑張ろうと思えた。手術が終わった後も一人では何もできなかった私に、看護師さんが嫌な顔ひとつせず笑顔で様々なことを手伝ってくれた。夜中でもナースコールを押すとすぐ駆けつけてくれて、その看護師さんの対応に感動した。不安そうな患者さんとその家族へ安心感を与える優しい対応に私は心を奪われた。

二つ目は祖父の介護をしていたことだ。祖父はずっと在宅で寝たきりの生活を送っていた。ご飯を食べるのも薬を飲むのも全て点滴で行っていて、それを私は時々手伝っていた。身体を拭きマッサージをするなど多くのことを手伝ってきた。また、私の話を嬉しそうに聞く祖父を見て、私も嬉しくなり自然と笑顔になった。だが、祖父が辛そうな顔をした時、辛い思いをしている人を笑顔にして助けてあげたいと思った。私が声をかけてサポートをすることにより笑顔になる人がいることに気づいた。

この二つの体験を通して私は看護師に興味を持ち調べるようになった。そして、看護師になろうと決めた。看護師は「人の命を預かる」という責任がある仕事だから大変で誰もやりたがらないと思っていた。しかし、そうではないということに気づいた。確かに責任やプレッシャーは大きく、更に夜勤の際は人数が少ないため、限られた人員の中で高い対応力を求められたり、生活リズム



## 最優秀作品紹介

が崩れたりすることなど辛いことがたくさんある。だが、その分だけやりがいや喜びが多い仕事だと私は思う。患者さんの笑顔や「ありがとうございます」などの感謝の言葉を言ってくれる時にとってもやりがいを感じられる。感謝の言葉ほど嬉しいものは無い。

私が憧れた看護師さんのように、患者さんに対して優しくと安心感のある対応ができる看護師になりたい。そのために、笑顔で常に相手の気持ちを考えて生活していきたい。また、コミュニケーションも大事にしていかなければならない。検査、点滴や注射など医師がスムーズに処置できるようにサポートをし、患者さんやその家族に対しては適切な対応と心の支えになるような関わり方をしていきたい。不安を抱えている人に寄り添い、そういう人を少しでも減らしていきたい。

少子高齢化が進んでいる今、在宅医療にも力を入れるべきだ。在宅医療により、通院の負担軽減や感染症のリスクを防止しながら療養できる

といったメリットがある。反対に、家族にかかる負担が大きいといったデメリットもある。しかしそれは、社会資源の導入や二十四時間体制のサポートで軽減できると考える。デメリットを少しずつ改善していけば最も良いものになっていくに違いない。また、他院や訪問介護ステーションなどと協力して在宅医療に取り組む必要があると感じた。岩手町の人々が笑顔で健康に暮らせるように町全体でサポートしていくことが一番大切だと考える。そして、医療従事者になりたいという人が一人でも増えてくれれば嬉しい。



# 総評

第三十回岩手町福祉作文コンクールに、町内各小中学校や高校から多数の応募をいただき、誠にありがとうございます。

作文を読ませていただき、どの作品も相手を思いやる温かな心、助け合い支え合う心があふれる素晴らしいものでした。家族への思いの強さや福祉体験での学びの価値を述べたり、地域や現代的な課題について真摯に考察し深めたりしている姿が大変素晴らしいと感心いたしました。また、表現方法において、序論、本論、結論、あるいは起承転結など文章構成を工夫したり、一字一字丁寧に書き上げたりしているところに、物事に対する真剣な心構えを感じ、大変好感をもちました。

特筆すべきことは、相手を思いやるやさしい気持ちや「思い」だけで終わらせることなく、「行動」にまで高めている作品がたくさんあったことです。

「心」は誰にも見えないけれど、  
「心づかい」は見える。  
「思い」は見えないけれど、  
「思いやり」は誰にでも見える。  
その気持ちをカタチに。

このようなメッセージを見たり聞いたりしたことはないでしょうか。このメッセージは、東日本大震災以後、毎日テレビでACジャパンのCMで流れていたもので、詩人・宮澤章二さんの詩「行為の意味」を抜粋したものです。

今から十二年前、想像を絶する東日本大震災・津波が三陸沿岸各地を襲いました。町は一瞬にして海にのまれ、たくさんの方が亡くなりました。

被災地の皆さんは、そんな時でさえ、食べ物を分け合い、互いにいたわり、困難を乗り越えようと思いました。その様子を知った世界の人々から、日本人はパニックを起こさず秩序ある行動をする国民であると称賛されました。

このメッセージは、思いやりの気持ちをもっていても、行動に移すことはなかなか難しい。けれど、その美しい気持ちは行為になってこそ意味があるということをお私たちに投げかけてくれました。私は、あの時の助け合う姿こそ、私たちが先祖から連綿として受け継がれ、体の中に培われてきた「思いやり」であり、日本人の利他の精神だと思っております。

今回の福祉作文入選作品集の中には、やさしい「心」が「心づかい」という行為となり、「思い」が「思いやり」という行動となっている岩手町の児童生徒の姿が表われています。それはまさしく、自分だけでなく、共に幸せになろうという強く気

高い気持ちにはなりません。

今、各校では福祉教育が定着し、福祉体験学習や訪問交流学习の恒例化によって、また、ご家庭での教育や地域の教育活動の充実によって福祉の心が育ってきています。ぜひこの入選作品集の一つ一つから、岩手町の児童生徒のやさしい「心づかい」や「思いやり」に触れていただきたいと思います。

最後になりますが、これまで児童生徒を導き、丁寧なご指導をいただいた各校の先生方のご労苦に敬意と感謝を表しますとともに、岩手町の子どもたちに温かな福祉の心を育んでいただいているご家族の皆様、地域の皆様、社会福祉協議会等の関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます、総評いたします。

岩手町福祉作文コンクール審査委員長

岩手町教育長 佐藤 卓



# 沼宮内保育所の紹介



岩手町社会福祉協議会は、町内で6つの保育施設等の運営を町から受託しています。  
いわてまち社協だよりでは、順次各施設を紹介していきます。

## 施設の概要

- 施設名称  
社会福祉法人 岩手町社会福祉協議会  
岩手町立沼宮内保育所
- 所在地 岩手町大字江刈内 9-65-17
- 定員 60名
- 所長 松森 幸子
- 主任保育士 佐藤 寛子

## 施設の特徴

昭和44年に設立され定員60名(0~5歳児)の子どもたちが入所しています。  
沼宮内地区にあるため、愛宕神社祭典での山車引きや、秋祭りパレードでの駒踊り参加など、地域の行事にも楽しく参加させていただいています。

### 松森所長から一言コメント

日々、子どもたちと保護者に寄り添いながら1人1人を大切に、子どもたち・保護者が笑顔で過ごせるよう、また、さまざまな経験を通して子どもたちの主体性を育てていけるよう取り組んでいます。



## お知らせ

### ～生活困窮者自立支援事業について～

平成 27 年 4 月から盛岡広域振興局では生活困窮者自立相談支援事業を岩手県社会福祉協議会に委託し、「いわて県央生活支援相談室」を開設しております。

生活・就労・福祉などの問題解決に向けて関係機関と連携しながら専門の相談員と一緒に取り組んでいます。

仕事が見つからない  
家賃が払えなくて、アパートを  
追い出されそう



生活が苦しい  
電気、ガス、水道が止められそう  
借金で生活ができない



病気で働けない  
どうしよう



外に出るのが怖い  
人と話をしたくない  
でも将来が不安

家族のことで悩んでいる  
どこに相談したらよいだらう



など、どのような相談もお受けします。

#### 問い合わせ先

いわて県央生活支援相談室 岩手県社会福祉協議会  
電話番号 019-637-4473

または、

岩手町社会福祉協議会

電話番号 0195-62-3570

受付時間 8:30～17:15 (月～金) 祝祭日を除く

窓口に来られない場合には相談員が訪問することもできます。  
ご家族など周りの方からの相談でも受付いたします。  
一人で悩まず、お気軽に相談ください。



# 共同募金

ご協力ありがとうございました

## ◆戸別募金（一般募金・歳末募金）

（単位：円）

地 区	世帯数	一般募金	歳末募金	地 区	世帯数	一般募金	歳末募金	地 区	世帯数	一般募金	歳末募金
前ヶ沢	15	13,500	3,000	上大町	27	24,300	5,400	下黒内	41	36,900	8,200
吉谷地	6	5,400	1,200	下大町	64	57,600	12,800	葉木田	44	39,600	8,800
御堂新田	12	10,800	2,400	上野口町	44	39,600	8,800	今松	53	47,700	10,600
御堂	36	32,400	7,200	下野口町	27	24,300	5,400	上鳴沢	49	44,100	9,800
水堀	31	27,900	6,200	上愛宕下	48	43,200	9,600	下鳴沢	30	27,000	6,000
小山沢	11	9,900	2,200	新愛宕下	82	73,800	16,400	上浮島	22	19,800	4,400
朽木林	20	18,000	4,000	下愛宕下	104	93,600	20,800	下浮島	68	61,200	13,600
北上	5	4,500	1,000	江刈内	52	46,800	10,400	岩崎	29	26,100	5,800
上横沢	22	19,800	4,400	石神	81	72,900	16,200	沼袋	19	17,100	3,800
下横沢	19	17,100	3,800	上苗代沢	52	46,800	10,400	子抱	21	18,900	4,200
尾呂部	57	51,300	11,400	下苗代沢1	38	34,200	7,600	芦田内	33	29,700	6,600
川原木	50	45,000	10,000	下苗代沢2	43	38,700	8,600	野原	79	71,100	15,800
笈の口	20	18,000	4,000	駅前	26	23,400	5,200	雪浦	55	49,500	11,000
豊岡	26	23,400	5,200	犬袋	114	102,600	22,800	橋場	146	131,400	29,200
大坊1・2	73	65,700	14,600	子抱団地	14	12,600	2,800	上町	32	28,800	6,400
岩瀬張	33	29,700	6,600	細沢	41	36,900	8,200	駅通	106	95,400	21,200
曲り	7	6,300	1,400	太田	54	48,600	10,800	下町・山道	84	75,600	16,800
一本柳・白栂・日の神子	38	34,200	7,600	横田	84	75,600	16,800	境田・ニツ森1・2	172	154,800	34,400
下屋敷・藤突・葉の木・上平	35	31,500	7,000	半在家	17	15,300	3,400	秋浦・高梨	31	27,900	6,200
大金沢・小金沢	15	13,500	3,000	久保・落合	52	46,800	10,400	土滝・雨滝	7	6,300	1,400
落葉・相寅瀬・万部	43	38,700	8,600	新田	44	39,600	8,800	子九十	13	11,700	2,600
大平	8	7,200	1,600	土川	60	54,000	12,000	大渡・遠中沢	23	20,700	4,600
上・下五日市	230	207,000	46,000	大森	25	22,500	5,000	太布	13	11,700	2,600
新町・城山	117	105,300	23,400	一方井	103	92,700	20,600	水無	24	21,600	4,800
民部田	128	115,200	25,600	中田	35	31,500	7,000	丸泉寺	10	9,000	2,000
柳橋	37	33,300	7,400	黒石	64	57,600	12,800	穀蔵	4	3,600	800
館	115	103,500	23,000	大股	11	9,900	2,200	合 計	3,889	3,500,100	777,800
田中・栄小路	44	39,600	8,800	上黒内	22	19,800	4,400				

## ◆職域募金

（単位：円）

職 場 名	一般募金	職 場 名	一般募金	職 場 名	一般募金
瀬川モータース(有)	5,176	佐藤整形外科クリニック	4,197	南外山商店	2,465
佐渡医院	10,000	盛岡中央消防署岩手分署	2,100	新岩手農業協同組合岩手支所	2,380
㈱宮崎商店	5,000	佐々木医院	1,090	特別養護老人ホーム ラベンダー	1,472
特別養護老人ホーム あんずの里	23,400	㈱岩手町ふるさと振興公社	3,235	岩手町役場	18,388
㈱佐藤建設	51,600	塚谷医院	10,173	岩手町社会福祉協議会	1,796
㈱高橋商店	5,000	沼宮内郵便局	2,770	職域募金合計金額	160,893
ケアホーム川口	651	沼宮内歯科医院	10,000		

## ◆学校募金

（単位：円）

学 校 名	一般募金
岩手町立沼宮内小学校	4,191
岩手町立川口小学校	3,051
岩手町立一方井小学校	5,607
岩手町立沼宮内中学校	22,959
岩手町立一方井中学校	3,060
岩手県立沼宮内高等学校	7,545
学校募金合計金額	46,413

## ◆興行募金

（単位：円）

募 金 者 名	一般募金
南山形地区文化祭実行委員会	13,750
興行募金金額	13,750

## ◆その他募金

（単位：円）

募 金 者 名	一般募金
匿名	370
自動販売機益金	16,500
預金利息	4
その他合計	16,874

## ◆募金合計

（単位：円）

一般募金合計額	3,738,030
歳末募金合計額	777,800
共同募金合計額	4,515,830



# 令和4年度 赤い羽根

## 岩手町内の学校から届いた優しさ

一方井小学校（佐々木悟校長、児童 72 人）は 12 月 14 日、社会福祉法人岩手町社会福祉協議会（藤原徳明会長）へ赤い羽根共同募金を寄附しました。

藤原会長が同校を訪問し、放送ボランティア委員会の児童たちと面会。今松真流飛委員長（6年）が「2週間にわたり募金活動を行い、みんなに協力してもらいました」とあいさつし、集まった共同募金 5,607 円が入った募金箱を藤原会長に手渡しました。藤原会長は「町の福祉活動のため活用させていただきます」と感謝を伝えました。



赤い羽根共同募金活動で寄せられた「優しいまごころ」を藤原会長<sup>㊤</sup>に手渡す一方井小学校の児童たち

愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

### 高齢者や障がい者などを対象とした地域福祉活動に役立てられています

赤い羽根共同募金運動は、令和4年10月1日から12月31日までの期間に行われ、町内各世帯をはじめ、学校や職場など皆さまから総額 4,515,830 円のご協力をいただきました。この募金は、当会が行う高齢者や障がい者などを対象としたさまざまな地域福祉活動に役立てられます。

皆さまの善意が地域を支えています。心から感謝申し上げます。

## 歳末たすけあい募金 地域歳末たすけあい運動

地域歳末たすけあい運動は、「みんなでささえあう、あったかい地域づくり」がスローガンです。

この運動は、申請のあった町内の生活困窮世帯などを対象に、歳末たすけあい義援金として、地区の民生委員を通じて歳末たすけあい募金を配分しています。

皆さまのご協力ありがとうございました。

## 69世帯へ義援金

配分対象及び経費	配分額
著しく生活にお困りの世帯…64件	640,000円
障がい児・者のいる世帯……3件	30,000円
火災や風水害の被災世帯……2件	20,000円
合計	690,000円

# まちの福祉

## 子育てサロン「すくすく」



①町食生活改善推進員（後列）からひな祭りレシピを教えてもらった参加者の皆さん  
②カラフルで華やかな「カップちらしずし」



毎月さまざまな行事を行っている子育てサロン「すくすく」では2月21日、ひな祭りレシピを学びました。  
町食生活改善推進員の皆さんが作っているところを見学しながら、手順や作り方のコツを教わり、一緒に盛り付け。ひな祭りにぴったりの「カップちらしずし」が完成しました。

食卓を華やかに彩る♪  
ひな祭り料理レッスン

【訂正とお詫】  
令和4年12月発行「いわてまち社協だより106号」12ページのご寄附の欄に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。  
(誤) 代表 熊谷 美枝子 様  
(正) 代表 熊谷 美枝 様

1月26日に開催した子育てサロン「すくすく」では、節分の飾り作りをしました。  
参加者は、毛糸でポンポンを作り、角や目玉を付けて鬼の飾りを制作。色や表情の違う鬼がたくさんできました。

「鬼」なのにかわいい!?  
身近な材料で節分の飾り



たくさん作ったふわふわの鬼に囲まれて楽しそうな表情を見せる子育てサロンすくすくの参加児童

### 編集後記

沼宮内保育所では、にぎやかに豆まき会が行われていました。鬼退治後、鬼のことを思い出して泣いている子を慰めてあげている姿に子どもたち同士の絆を感じました。(三上)

### ご寄附いただいた方の紹介



#### 寄附者名・寄附団体名



- 匿名 様 ..... 5,000 円
- ぬくみの会 会長 圓子 理江子 様 ..... 10,000 円
- 新岩手農業協同組合女性部 岩手支部 様 ..... 30,000 円
- みちのくコカ・コーラボトリング(株)西根営業所 様 ..... 267 円  
(※自動販売機益金)
- 藤村 靖子 様  
切手・収入印紙・登記印紙 ..... 13,781 円分
- 岩手町農産加工組合 様 ..... 10,000 円

【令和4年11月1日～令和5年2月28日受付分】